

企画展

RAKUTZAN



九代空味
たむかたにしきりょうぢやわん
俵形錦模様茶碗

— 変わりゆくもの、変わらぬもの —

楽山焼の色絵

2023

5/27 SAT. ~ 7/30 SUN.

■開館時間/9:00~16:30 (入館は16:00迄) ■休館日/毎週火曜日 (祝日の場合は翌日)

■入館料/一般1,100円 団体900円 (20名以上) 高校生・大学生550円 小・中学生無料

*身体障がい者手帳・療育手帳・精神障がい者手帳をお持ちの方、及びその付き添いの方1名は無料。

■主催/安来市加納美術館 ■共催/安来市教育委員会 ■監修/12代長岡住右衛門空郷

■後援/安来市、安来市文化協会、広瀬町文化協会、山陰中央新報社、中国新聞社、新日本海新聞社、島根日日新聞社、朝日新聞松江総局、毎日新聞松江支局、読売新聞松江支局、NHK 松江放送局、BSS 山陰放送、TSK さんいん中央テレビ、日本海テレビ、山陰ケーブルビジョン、中海テレビ、エフエム山陰、DARAZ FM

同時開催



かん らい

加納莞蕾展

「戦犯赦免から70年、今私たちは—」

加納莞蕾の作品と平和への活動の軌跡を展示。

2023年は戦犯赦免70年の年です。今、美術館は学校や地域の平和学習の場にもなっています。

Y A S U G I K A N O M U S E U M o f A R T



安来市加納美術館
YASUGI KANO MUSEUM of ART

〒692-0623 島根県安来市広瀬町布部345-27
Tel:0854-36-0880 <https://www.art-kano.jp>
E-mail: info@yasugi-kano-museum.com



入館割引券
100円引
*本館に限り
他の割引券とは併用不可

楽山焼の色絵

松江藩の御用窯で、不昧公(松江藩主松平治郷)から愛されてきた楽山焼は、江戸時代から現代まで続く伝統を守る窯です。現在の12代長岡住右衛門空郷氏は2019年に襲名。日夜、伝統を守りつつ新作への探求に余念がありません。この展覧会では、同氏の監修のもと、江戸時代から始まる楽山焼の「色絵」に注目し、釉薬や技法、絵柄の変化また不変の面白さを見ていただきます。茶人大名松平不昧の影響が色濃く残り、茶の湯が身近な文化である松江や安来の地域性にもご注目ください。



六代空斎 海老茶碗

九代空味 色絵三島銘々皿



十一代空郷 誰ヶ袖茶碗



◆会期中の催し

オープニングセレモニー

5月27日(土) 10:00~
終了後、12代長岡住右衛門空郷氏による
ギャラリートーク

トークイベント(講演会) 会場/布部交流センター

6月25日(日) 13:30~15:00
「12代長岡住右衛門を襲名して」
講師/12代長岡住右衛門空郷氏



学芸員によるギャラリートーク

随時。ご希望の方は、受付でお声掛けください。

アートdeトーク(対話型鑑賞会)

7月2日(日) 11:00~12:00 13:30~14:30
ひとつの作品を見ながら何が見えるか
数人で対話しながら鑑賞します。
ナビゲーター/春日美由紀さん(みるみるの会)

お気軽に
ご参加ください

楽山焼の茶碗で呈茶

定員 各6名

期間中の土・日・祝 *対応できない日もあります
① 10:30~ ② 11:00~ ③ 11:30~
④ 13:30~ ⑤ 14:00~ ⑥ 14:30~

参加費: お茶代(お菓子付) 800円
場 所: 茶室「如水庵」



茶室 如水庵

同時開催

加納莞菴展

「戦犯赦免から70年、今私たちは」

安来市出身の画家加納莞菴(1904~1977)は、戦後日本人フィリピンBC戦犯の助命嘆願書をフィリピン大統領はじめ、世界の要人たちに送り続けました。その活動は世界の恒久平和への希求へと発展し戦犯解放後もずっと続きました。莞菴の活動は今、中学歴史教科書にも記され、次世代につながっていくこととしています。2023年は戦犯赦免70年の年でもあります。莞菴の平和への想いを絵画作品と資料を通じてごらんください。



レストランやまさやを併設しています。

火曜日定休日
(祝日の場合は翌日)



安来市加納美術館
YASUGI KANO MUSEUM of ART

〒692-0623 鳥根県安来市広瀬町布部345-27
Tel:0854-36-0880 <https://www.art-kano.jp>
E-mail: info@yasugi-kano-museum.com



入館割引券
100円引
※本館美術館
他の施設は対象外